

労働者はダンプの損料で食べているのが現状

「適用対象外」の一人親方労働者等が排除されないよう「ガイドライン」にもとづく指導を徹底する。ダンプ規制法にもとづく12条団体の使用促進については受注者に指導してゆ

広島のだンプ労働者の新聞

ダンプ通信

全日本建設交運一般労働組合広島県本部

広島だンプ支部

〒730-0085

広島市中区鞆町一丁目二九三〇三

TEL (082) 235-1305

FAX (082) 235-1305

MAIL ctg@hiroshima.email.ne.jp



キャラバンの要請書を手渡す広島だンプ支部の小林豊数議長、上から広島建設工業協会、広島県建設産業課、広島市にて(2017年7月18日)

食べているのが現状

この五年間労務費単価は大幅に引き上

単価上がらずダンプの損料で

ダンプキャラバンには組合側からは小林議長、坂井副議長、山田事務局長、岩男執行委員、前田執行委員、武田事務局次長など一四人と広島生公連から清水幹事の合計一五人が参加しました。

一日目午前中は広島県建設工業協会と広島県、午後は広島県警本部と広島市に要請、二日目は午前中国土交通省中国地方整備局、午後は福山市、広島県東部建設事務所に要請懇談を行いました。

建交労広島だンプ支部は七月十八日(火)～十九日(水)の二日間、第二四回ダンプキャラバン行動に取り組みました。二日間で二五人が参加しました。

書を渡して指導(広島市・福山市)

また社会保険加入問題ではダンプの一人親方労働者は「適用対象外」(国交省「ガイドライン」)

となっていますが、「社保未加入者は現場には

国交省の「ガイドライン」の説明

げられているのに、末端のだンプ持ち労働者の受け取る単価はほとんど上がっていないという組合の実態をアンケート調査の結果も示しての追及には「仕様書を渡して指導している」と回答するのみで、組合からは「低単価の現状では、労働者はダンプの損料で食べているのが現状」と厳しい現状を明らかにしました。

『指導事項』より抜粋

「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」の目的に鑑み、法二二条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。

者を指導します(広島県)

「指導事項」(ダンプ・トラック等による過積載防止について)が順守されるようダンプ規制法第二二条団体等に該当する建交労加入者の使用促進の要求については「二二条団体等の使用促進については受注者に指導してゆく」(広島県)と回答しました。

は指導事項にもとづき受注

組合の指摘にたいし「社会保険等未加入対策の強化について」(広島市)、「入札及び契約制度の改正内容」(福山市)を渡して業者等に説明しているとの回答があり、説明文書を受け取りました。



広島県東部建設事務所所長への要請書を渡す小林豊数議長

(2017年7月19日福山市内にて)

徒然草

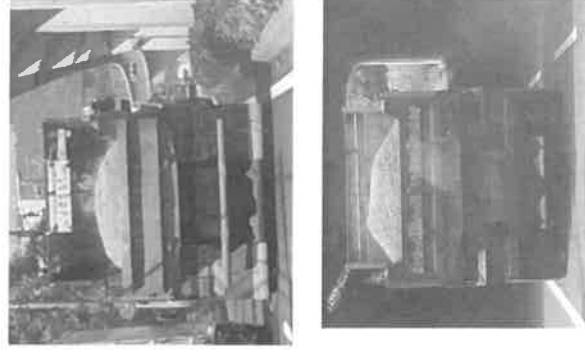
◆安倍政権の支持率低下が止まりそうにない。二四日の「毎日新聞」ではとうとう二六%まで下がった。二〇%台になると「長くは持たない」のがこれまでの定説となっている。短い政権は一ヶ月で投げ出した例もある。◆きつかけとなったのは七月二日投票の東京都議会議員選挙での大敗(五七議席から二三議席へ激減)である。これまでは政策に対する反発で支持率を下げたが、とうとう「安倍首相が信用できないから」が不支持の一番大きな原因になっている。◆支持率低下と世論に押されて安倍首相は国会閉会中の審査に応じざるを得なくなり、二四日～二五日の二日間、加計学園問題などの集中審議が行われた。しかし「加計学園ありき」の疑いはますます深まった。◆安倍首相は八月に内閣改造を行い支持率回復を狙っているが「内閣改造に期待しない」が六割以上となっており、すでに打開策は尽きた形。国会運営の強引・傲慢さ、そして加計学園の獣医学部新設では国家戦略特区で「岩盤規制に穴をあける」と称して「腹心の友」と自ら言っはばからない加計理事長経営の私学に一〇〇億円の税金が使われようとしている。◆その経緯に疑問が投げかけられているのだから明らかにするよう求めるのは当たり前のことである。(M)

ダンプの過積載は復活している、広島～呉の実態調査結果を示して過積載根絶を追及しました。



ダンプキャラバンでは、七月二三日(木)に広島～呉地域を中心に行ったダンプの「過積載調査」の結果と内容についても写真を示し「過積載」が復活している事を説明するとともに、過積載根絶の指導を要求しました。

組合が示したのは広島市内を材料を過積載で運搬するダンプや広島県発注の工事現場から出てきた過積載ダンプを確認したダンプ、また呉市内では呉市発注の現場からアスファルトを過積載したダンプなどの写真を示して説明し過積載が復活している事実を示しました。(左右の写真はいずれも広島市内です) しかし整備局も広島県も「四半期ごと(年4回)の過積載調査を行っているが過積載調査の結果は「六九〇六台中ゼロ」(整備局)、「八三四台中ゼロ」(いずれも目視)と回答しました。



七月七日、国連で 122カ国が賛成 核兵器禁止条約が 歴史上はじめて締 結されました

過積載調査を組合に委託し てもらいたい！

キャラバン参加者からは「本当の抜き打ち調査でないため、組合に調査を委託してくれるれば正確な過積載調査を行うことができる」と主張しました。

高齢者対策に力を入れている、 提案については検討します

県警本部とは、過積載の取締りと事前に調査して提出した県内3ヶ所の「道路点検改善要請」にたいする回答を受け懇談しました。出席した交通指導課の担当官は「現在は過積載の取締りよりも高齢者対策に力を入れている」と発言しました。交差点の改善を要請した「道路点検改善要請」のうち福山市内の「岩足橋北詰交差点」の信号機の問題については「規制課で検討すると言っています」との回答がありました。



雨の中広島市西区役所前に着いた行進団(7月5日)

世界大会の成功を

原水爆禁止世界大会を成功させようと、七月五日に、広島平和公園から長崎市にむけて平和行進が出発しました。広島ダンプ支部から山田事務局長と武田事務局長らが参加し西区役所まで行進しました。

これまで広島や長崎の被爆者はもちろん、世界の多くの人々が「核兵器による悲劇を一度と繰り返してはならない」「核兵器は廃絶しかない」と世界中で署名を集め「語り部」を行い運動してきましたが、大きく実を結びました。

広島はもうすぐ戦後七十二年、被爆七十二年の八月六日を迎えますが、ご承知のとおり、国連では七月七日(日本時間)に世界で初めて「核兵器禁止条約」を賛成122カ国、反対1、保留2の圧倒的多数で採択しました。まさに歴史的な事です。

武田君が原水爆禁止世界大会

十ガサキに参加します！

今年長崎で「2017年原水禁世界大会」が開催されます。8月7日から9日の3日間、2017世界大会や建交労の交流会、世界大会分科会などが開催されます。被爆三世の武田喜成君が初参加となります。被爆の実相を学び伝え核兵器廃絶について継承をしてもらいたいと思います。

組合活動日程

- 八・二 建交労広島県本部委員会
- 八・三 建交労反核トラックが広島到着
- 八・四 国民平和行進が広島に到着
- 八・六 広島原爆の日(被爆七十二年)ヒロシマデー集会(二三時)
- 八・八 被爆七十二年建交労交流会(長崎)
- 八・九 長崎原爆の日(被爆七十二年)
- 八・一四 お盆休み(一六日)
- 八・一九 企業組合福山定例会
- 八・二六 広島ダンプ支部合同役員会
- 九・二 建交労全国大会(一四日)
- 九・九 企業組合広島定例会
- 九・一六 企業組合呉定例会、県労連大会
- 九・二三 ダンプ支部合同役員会
- 九・二四 建交労広島県本部大会
- 九・三〇 生活保護裁判を支援する会総会
- 九・三〇 働く者のいのちと健康守る広島セクター総会(ロードビル)